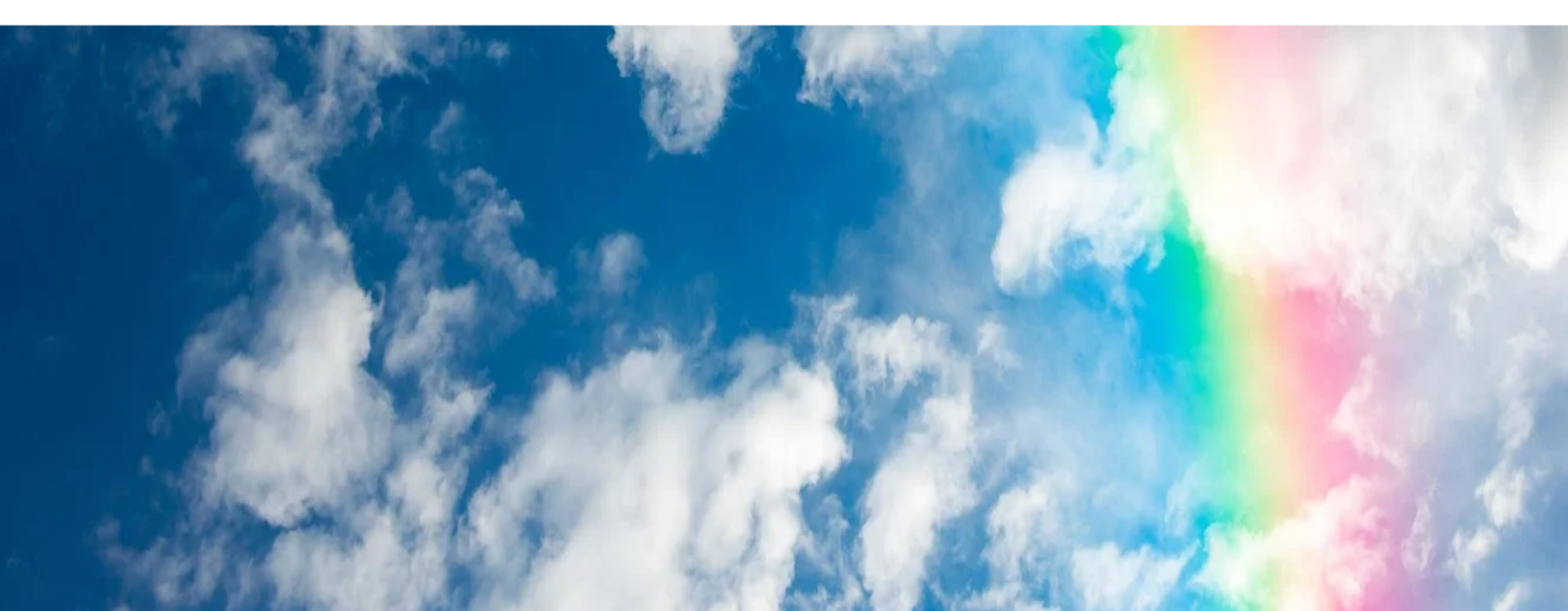
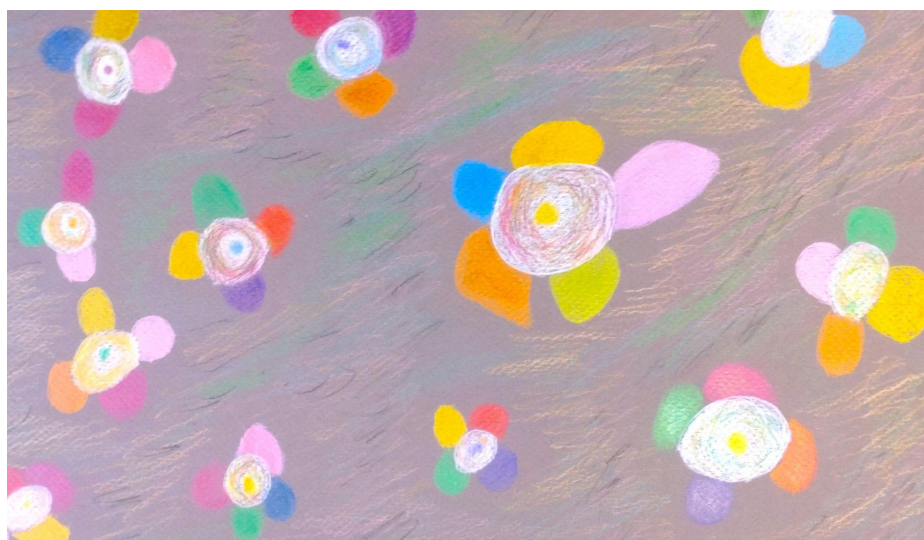




令和4年度事業報告書

(期間: 令和4年4月1日～令和5年3月31日)



目 次

◆社会福祉法人虹の会 総括	2
◆法人運営	2
◆委員会活動	7
◆行政監査の結果・虐待および身体拘束の結果	9
◆事業の開始および廃止・大規模修繕等・法人研修	12
◆事故発生および苦情の内容と対応 他	14
◆職員の状況	18
◆事業所の状況・就労支援の状況	20
◆地域における公益的な取組の状況	22
◆財務ハイライト	23
◆経営分析参考指標	23
◆各事業部ごとの報告	25
本部事務局	26
事務センター	28
第1事業部	
(アイリス、マーブル、大地)	29
第2事業部	
(ドリーム・あんです、ドリーム・だんだん)	30
第3事業部	
(ハーモニー、わになろう)	31
第4事業部	
(ひまわり生活の家、といろ、計画相談支援センター虹)	32
第5事業部	
(高島市障がい者相談支援センターコンパス、就労準備支援ホップ)	33

※令和4年度社会福祉法人虹の会事業報告については、事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していません。

社会福祉法人 虹の会

◆総括

コロナウィルス感染症が発生してから3年が経過しましたが、いまだに終息せず今年度法人内の事業所でもクラスターが発生しました。しかし感染予防・ワクチン等の効果もあり、徐々に落ち着きを取り戻し、1年を終えることができました。

会計においては、前期は活動の制限や作業量の減少等で縮小傾向にありましたが、後期にはほぼコロナ前の水準に戻ってきたので概ね予算通りに収めることができました。

第2期中期経営計画は中間年となり、社会福祉法人を取り巻く環境が大きく変化し生活課題・福祉課題が多様化・複雑化している状況下の中、「共に生きる」という理念のもと選ばれる法人・選ばれる事業所を目指し4つの戦略と16の重点項目を掲げ、その達成に向けて努力をしてきました。今年度は、共生型サービスや障害児相談支援をスタートすることができました。次年度は計画の最終年度となりますが、放課後等デイサービスの開設も決まり、計画の構想通り全世代型のサービス展開ができるものと確信しています。

◆法人運営

(1)適切で透明性の高い法人経営を推進するため、経営の決断・執行・監督の充実に努め、以下の役員会等を開催しました。

◎理事会

回	開催日	議案	可否	理事および 監事出席
1回	6月5日	アーカスの活用について 共同生活援助事業預り金等管理規程制定 定款一部変更 定款施行細則一部変更 経理規程一部変更 令和3年度(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)事業報告書、計算関係書類および財産目録承認 社会福祉充実計画 令和4年度補正予算書(第1次) 令和4年度第1回定時評議員会招集	可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決	欠席者なし
2回	8月20日	定款一部変更 経理規程一部変更 令和4年度収益事業事業計画	可決 可決 可決	理事1名 欠席

		令和4年度補正予算(第2次) 令和4年度評議員会(第2回)招集 ドリーム・あんですおよびドリーム・だんだんエアコン改修工事入札参加業者選定	可決 可決 可決	
3回	9月12日	ドリーム・あんです ドリーム・だんだんエアコン改修工事契約締結 給与等支給規則一部変更 育児休業および介護休業等に関する規則一部変更	可決 可決 可決	理事1名 欠席 監事1名 欠席
4回	11月3日	経理規程一部変更 正職員就業規則一部変更 アルバイト就業規則一部変更 給与等支給規則一部変更 令和4年度補正予算書(第3次) 令和4年度評議員会(第3回)	可決 可決 可決 可決 可決 可決	欠席者なし
5回	1月5日	会社役員賠償責任保険加入 放課後等デイサービス指定申請	可決 可決	理事3名 欠席
6回	2月13日	定款一部変更 令和4年度評議員会(第4回)招集	可決 可決	理事1名 欠席
7回	3月16日	定款施行細則一部変更 組織および職務権限規程一部変更 経理規程一部変更 役員等報酬および費用弁償規程一部変更 公印管理規程一部変更 給与等支給規則一部変更 令和4年度補正予算書(第4次) 令和5年度事業計画 令和5年度収支予算書(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで) 地域包括支援センター実施 令和4年度評議員会(第5回)招集 第三者委員選任 施設長等解任	可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決	欠席者なし なし

※当法人は、社会福祉法人会計基準により公表すべき関連当事者間の取引はありません。

◎評議員会

回	開催日	議案	可否	評議員および監事出席
1回	6月22日	基本財産処分 定款一部変更 令和3年度(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)事業報告書、計算書類(貸借対照表および収支計算書)および財産目録承認 社会福祉充実計画 令和4年度補正予算書(第1次)	可決 可決 可決 可決 可決	欠席者 なし
2回	8月30日	定款一部変更 令和4年度収益事業事業計画 令和4年度補正予算(第2次)	可決 可決 可決	評議員 2名欠席
3回	11月11日	令和4年度補正予算書(第3次)	可決	評議員 1名欠席 監事 1名欠席
4回	2月23日	定款一部変更	可決	評議員 1名欠席
5回	3月27日	役員等報酬および費用弁償規程一部変更 令和4年度補正予算書(第4次) 令和5年度事業計画 令和5年度収支予算書(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)	可決 可決 可決 可決	評議員 1名欠席

(2)監事監査

事業および会計の執行を監査し、その結果を報告および公表することにより、法人の健全かつ透明性の高い運営に資することを目的に監事による監査を実施しました。

回	開催日	議題	監査意見
1回	5月26日	令和3年度事業報告・計算関係書類および財産目録の監査	・事業報告等は、法令および定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。 ・理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はありません。 ・計算関係書類および財産目録については法人の財産、収支および純資産の増減の状況をすべての重要な点において適正に処理、表示しているものと認めます。
2回	10月21日	令和4年度中間監査	・事業報告等は、法令および定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。

			・理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実認められません。 ・計算関係書類および財産目録については法人の財産、収支および純資産の増減の状況をすべての重要な点において適正に処理、表示しているものと認めます。
--	--	--	---

上期監査助言・改善策

◎評議員会開催について 定款に特措法40条適用としたことで、評議員会の開催が多くな る ので書面議決によることも再検討されたい。

☞理事会および運営員会で決議の省略についても協議しています。

◎職員の資格要件について 職員の内部登用、昇格等において資格要件等を整備されたい。

☞新しい「職務等級フレーム」を整備、等級定義・資格要件を盛り込みました。

◎防災訓練について 職員向けにスマートフォン、LINE等のアプリを活用した緊急連絡網の 訓練をされたい。

☞令和5年度中に各拠点においてBCP・緊急連絡網を活用した訓練を実施予定です。

◎ひまわり生活の家の経営について、という開所による利用者の転居等もあったことから前 年度比2,000万円の赤字となっている。新規利用者の獲得や既存ホームの統廃合など今後の 経営について考えてほしい。

☞自立支援協議会等を活用して体験および入居に関する情報提供を積極的に実施しています。また、福祉充実計画において2か所目の日中サービス支援型ホームの整備についても計画しました。

◎寄付申込書について、寄付者の寄付の目的がわかるものに様式を変更してほしい。金封に ついては不要。寄付金台帳の整備をされたい。

☞目的がわかる様式に変更しました。金封のファイル添付は廃止することにしました。

◎固定資産台帳の整備について データとしては保存されているが、台帳として整備されたい。

☞固定資産台帳を印刷しファイリングして保存するようにしました。

◎帳票の確認印欄について 確認者がいない空欄は削除または斜線をして、空欄のままの状態にしないように整備してほしい。

☞職位不在の事業所で空欄になる帳票については斜線を引くようルール化しました。

下期監査助言・改善策

◎新規事業共生型サービス等の業績が思わしくない状態なので、分析を行いながら業績改善に努めてほしい。また、今後予定されている放課後等デイサービス事業についても事業の 遂行上、必要な地域のニーズや利用者や職員の確保の可否等、充分検討して事業計画を立ててほしい。

☞相談支援事業所等との連携を図り、現状分析を行いました。また、利用者ニーズ・地域ニーズを適切に把握することに努めました。新規事業については先行投資の一面もあり、数年先を見据えた経営を考えるなかで事業計画を作成しました。

◎夜間勤務について、心身の負担は大きいだけに労務管理、特にメンタルケアについては 充分配慮してほしい。

☞夜勤ペアについては、新人職員とベテランとし、支援に迷いが生じた際はベテランが対応できるようにしました。また、業務(血圧を測る、お風呂を沸かす、巡回する等より 具体的な業務)をマニュアル化、支援方法統一のため変更があった際も目で見てわかる よう視覚化し負担軽減を図りました。

夜勤者の勤務が終了する8:30～10:00の時間帯は、できる限り役職者が事務所に滞在するようにし、不安や悩みを持ち帰らず、すぐに伝えられる環境を整えました。

◎ハーモニー屋根工事については、年度を越える事業となっており、会計を含めた処理方法 が適切であったか確認をしてほしい。

☞所轄庁の監査時に確認しました。会計処理についての指摘は特にありませんでした。しかし、計画変更の際、理由を記載するよう助言を受けました。

◎大地の避難計画で退避場所への移動に道路を横断する必要があるが、二次被害の危険性が予見されるため再考願いたい。

☞避難経路について事業所内で再度検討し、道路を横断しない場所への変更を行いました。避難訓練時にも、新しい避難場所への避難を行いました。

◎災害時の連絡網について状況を確認すべき場合もあるので担当者を決めておいてはどうか。

☞管理職の緊急連絡網および各拠点緊急連絡網を作成しています。今後はBCPと連動させる中で担当者も含め検討していきます。

◎車輛積立金が多い拠点もあるので、リース契約を活用する場合のメリットデメリットを確認・検討してはどうか。

☞車両購入の際にリース契約についても情報収集等に努めます。

(3)法人の経営方針その他経営に関する事項および人事・人事評価・給与等を協議するため、また各拠点間連携をスムーズに図り事業を推進するため、情報共有・現状把握・課題検討等を以下の会議で実施しました。

会議名	回数
運営委員会	23回
人事給与等委員会	5回
管理職会	20回

◆委員会活動

◎コンプライアンス委員会

回数	目的	経過および成果
2回	コンプライアンスを推進するための方策、コンプライアンス違反行為に対する対応策および再発防止、コンプライアンス意識の高揚を図るための研修等を実施する。	コンプライアンス委員会を立ち上げ、役割の共有・年間計画を策定しました。コンプライアンスの資質向上のため、管理職に労働基準法、主任にハラスメント研修を実施しました。また、コンプライアンスチェックシートを実施し、委員会で結果を共有し現状分析を行いました。個別支援計画の作成およびモニタリングの状況については悉皆調査を実施しました。

◎個人情報管理委員会

回数	目的	経過および成果
2回	利用者および職員等の個人情報の管理を適切に行うための計画立案、指示、セキュリティ対策等の必要な取り組みを行う。	個人情報管理について、職員用、管理職用各々チェックシートを用いて、日頃の業務の中での個人情報の取扱いについて振り返る機会を設けました。結果については管理職会で共有し、改善点等について話し合い、各事業所事務所内での書類等の取り扱い、保管等について徹底しました。

◎リスクマネジメント委員会

回数	目的	経過および成果
6回	リスク管理に関して、体制および規程を整備し、利用者の安心・安全を確保すると共に、事故防止対策・危機管理体制を構築する。	委員の代表が「リスクマネジメント」について各事業所をまわり、共通研修を実施しました。リスクの芽に気付ける職場風土の醸成について働きかけを行いました。 また管理職会では災害時の事業継続計画(BCP)を通所部門、生活部門それぞれで作成しました。福祉避難所の登録を行っている事業所については、高島市防災課とも協議を行い、多方面からBCPについて検討しました。

◎虐待防止委員会

回数	目的	経過および成果
18回	事業所内における虐待防止を図るため、職員の虐待防止意識の向上や虐待の取り組みを実施、虐待のない施設環境づくりを目指す。	虐待防止マネージャーを中心に年間計画に沿って6つの項目(1.啓発・意識向上、2.規程等の整備・見直し、3.振り返り・気付き、4.研修、5.検討・調査、6.その他)で取り組みを行いました。また、草津市から依頼を受け、「発達支援センター湖の子園」の保育士向け研修講師や厚生労働省障害者総合福祉推進事業の障害者虐待防止研修の改定に向けた実践報告の依頼を受け、報告を行いました。 令和4年6月に虐待の疑い事案が発生し、事実確認調査の結果、令和4年9月に事実認定を受けました。このことを受け、臨時委員会を9回、グループ会議を4回開催し、虐待が生じた背景・課題を洗い出し、改善計画を作成しました。改善計画は12月に高島市へ提出しました。

◎中期経営計画委員会(策定・評価)

回数	目的	経過および成果
1回	安定した法人経営を継続するため、第2期中期経営計画を評価し、第3期中期経営計画を策定する。	令和4年度の取り組みについて評価委員会を開催し、16の重点課題に対して外部・内部委員から評価を受けました。具体的な助言に対し令和5年度の検討・取り組み事項としました。令和4年度1年間の評価結果はホームページにて公表予定です。また、第3期中期経営計画の事務局会議を開催、全国経営者協議会に中期経営計画作成にあたり基調講演を依頼しましたが、実現できませんでした。

◎事業改善プロジェクト

回数	目的	経過および成果
2回	制度・地域の動向とニーズを見極め、事業整理を行い、事業改善計画を策定する。	5月委員会にて共生型サービスについて意見交換、6月から役割担当ごとに集まり、市障がい福祉課・長寿介護課から情報収集を行いニーズを整理しました。10月委員会にて運営委員会への提案事項として、居宅介護支援事業所と介護支援専門員養成の必要性を報告書にまとめました。

◎地域貢献プロジェクト

回数	目的	経過および成果
4回	法人の地域貢献の方向性の検討、必要とされる取り組みの企画、共生社会づくりに寄与できるような先進的な実践を行う。	全国的にクローズアップされている「生きづらさ」や「社会参加」に課題のある方を対象とした居場所（虹カフェ）を北部エリア（ドリーム内）に開設する計画を立案しました。

◎採用プロジェクト

回数	目的	経過および成果
一	法人が求める「将来的に活躍できる人材を育てるための新卒採用」を目的に求人などの方法を通して応募・入社を促す。	主に大手求人サイトを利用し採用活動を行いました。「先輩職員と話がしたい」など学生からの声を反映させるため、先輩職員との懇談会等を実施し雰囲気を感じて貰える取組をしました。 結果、3名採用することができました。

◆行政監査の結果

◎法 人

日 時:令和4年12月23日

所轄庁:高島市

種別	指示事項等
文書 指摘	【法人の管理、運営について】 ・なし 【会計、経理について】 ・なし
口頭 指摘	【法人の管理、運営について】 ・なし 【会計、経理について】 ・なし
助言 その他	【法人の管理、運営について】 ・定款や規定を改正する際、条項号の誤りが複数みられたので、整合を図られた い。 【会計、経理について】 ・ハーモニー屋根改修工事について、追加工事を行っているが、変更契約の稟議 書に追加工事の理由が記入されていない。役員等に周知されていても、書面に 明記しておかれない。

改善結果

種別	改善事項
助言 その他	【法人の管理、運営について】 ・理事会および評議員会において、誤り箇所を修正しました。 【会計、経理について】 ・契約変更において、稟議書に変更理由も記載することとしました。

◎事業所:事業所に対する行政監査はありませんでした。

◆虐待および身体拘束の状況

◎虐待の状況

種類	経過等
身体的虐待	令和4年6月13日に身体的虐待(疑い)事案が発生し、高島市障がい福祉課(虐待防止センター)へ虹の会が通報しました。令和4年6月22日付けで「障害者福祉施設従事者による障害者虐待に関する事実確認調査(障害者虐待防止法に基づく任意の調査)」の依頼を受けました。調査の結果、令和4年9月27日付けで虐待の事実認定を受けました。このことを受け、虹の会および虐待防止委員会では、虐待が発生した原因や課題を洗い出し、再発防止に向けた改善計画を作成し、令和4年12月5日付けで高島市障がい福祉課へ提出しました。提出後は改善計画に則り、取り組みを実施しています。

※障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律に基づき、虐待認定を受けた件数は、身体的虐待1件でした。

◎身体拘束の状況

事業所名	件数	経過等
ハーモニー	1件	人の動きが刺激になり、他害行為につながる利用者で個別スペースにて支援を行っているが、突発的に部屋を出て隣の部屋へ入室する。声掛けにて退室を促すが、座り込み退室を拒否。複数の利用者へ指さしを行い他害要求がある。場面転換を促すため、職員が利用者の両肩を押す形で退室を促しました。
わになろう	1件	支援中、不穏な様子が見られたため距離をとりながら見守っていたが、利用者自身で服を噛み、裂け目から両手で引きちぎって破る行為があった。更衣後も距離を取り見守っていたが、突然立ち上がり、ヘルパーの襟元に掴みかかってくる。離れるよう伝えるが、興奮がおさまらず、ヘルパーの手を噛もうとしたり他の利用者へ殴りかかろうとしたため、職員2名で利用者の手を掴みヘルパーから離れるよう促しを行いました。
ひまわり生活の家	1件	新型コロナ検査キットで陽性反応があり、咳症状への服薬の必要性および他入居者の生活が大きく変わることから病院での検査が必要となった。検査の説明、気持ちの整理を行った後、鼻粘膜採取をしようとするが

		顔を背け拒否をする。次の患者も待機していることから、看護師の指示のもと、看護師が手の固定、支援者が頭部を10秒間固定し、検査を実施しました。
--	--	--

※当法人では原則として身体拘束は行いません。しかし、以下の「緊急やむを得ない場合」の3要件に該当する場合は身体拘束を行うこともあり、それらについては身体拘束適正化委員会において、情報公開をしたうえでその必要性等の検討を行い、身体拘束の減少を目指して支援していきます。

「緊急やむを得ない場合」の3要件

- 切迫性 利用者本人又は他の利用者等の生命、身体、権利が危険にさらされる可能性が著しく高い
- 非代替性 身体拘束その他の行動制限を行う以外に代替する方法がない
- 一時性 身体拘束その他の行動制限が一時的である

【虐待防止報告会】

障がい者の人権擁護や適切な支援の構築に向け、平成25年4月に「虐待防止委員会」を設置し、虹の会職員（管理職・主任・リーダー）が構成メンバーとなり、虐待のない組織を目指して取り組みを実施してきました。令和3年度から、職員以外の第三者による客観的視点や意見を取り入れるため、また委員会の活性化や透明化を図ることを目的に、虹の会第三者委員3名と家族会代表者1名に参画を依頼し、報告会を実施しています。委員会の取り組みはもとより、利用者支援や職場環境、職員育成等に対しても様々なご意見や助言を受けています。

回	開催日	内容
1回	5月27日	・令和3年度下期取り組み報告 ・意見交換
2回	10月25日	・令和4年上期取り組み報告 ・意見交換

◆事業の開始および廃止

◎わになろう

指令	種別	事業所番号	有効期間
滋賀県	訪問介護(共生型)	2572200760	令和4年4月1日～ 令和10年3月31日

◎計画相談支援センター虹

指令	種別	事業所番号	有効期間
滋賀県	自立生活援助	2512200383	令和4年4月1日～ 令和10年3月31日
高島市	指定障害児相談支援	2572200141	令和4年4月1日～ 令和10年3月31日

◎就労準備支援ホップ

委託元	事業名
高島市	高島市参加支援事業
高島市	高島市アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

◆大規模修繕等

◎ドリーム・あんです、ドリーム・だんだん

工事名	ドリーム・あんです、ドリーム・だんだんエアコン改修工事
金額(税込み)	41,526,714円
補助金	なし
施行期間	令和4年9月14日～令和4年12月26日

◆法人研修(全体・階層別研修)

人権・障害者虐待防止・個人情報保護の3点を主軸に法人全体での研修を実施しました。 コロナ禍の情勢を鑑み、事業所グループ単位でのオンライン研修や、DVD・録画配信により実施しました。

その他、階層別に内外研修を計画に沿って実施しました。

開催日	研修名	講師	対象
4月～9月	新人研修 (23回/全29回)	管理職・主任	新卒・既卒採用者
4月～9月	階層別外部研修(えにし滋賀階層別研修等)	えにし滋賀講師	対象者13名
5月16日	管理職研修	管理職	管理職昇格者
6月28・30日 7月1日	コンプライアンス研修	社会保険労務士 糀谷博和 氏	管理職
6月28日	ハラスメント研修	社会保険労務士 糀谷博和 氏	管理職
6月～7月	安全衛生推進者養成講習	労働基準協会講師	管理職・担当者
8月31日	虐待研修(虐待防止委員会)	弁護士 竹下育男 氏	管理職・主任
8月	考課者研修(オンライン)	インソース講師	所長
9月13日	先輩職員研修	リーダー	2年目職員
9月	法人人権研修	DVD	全職員
9月・10月	障害者施設従事者による障害者虐待防止研修 (管理職向け)(全2回)	社会福祉法人仁至会 塚本鋭裕 氏	管理職
12月	人権(LGBTQ)研修(録画配信)	滋賀県人権センター 曾我佳広 氏	全職員
12月	個人情報研修(録画配信)	虹の会IT顧問 藤井莊太郎 氏	全職員
1月	障害者施設従事者による障害者虐待防止研修 (一般職員向け)(DVD)	社会福祉法人しが夢翔会 小崎太陽 氏	職員
1月24日	介護スタッフとして身につけておきたい接遇(オンライン・録画配信)	滋賀県介護福祉士会 中村真理 氏	全職員

※支援のスキルアップとサービスの質向上を目指すため、事例を通して学びを深めアウトプットする機会として、法人内実践報告会を開催しました。また、報告内容を全職員が閲覧できるようにアーカイブ配信しました。

◆事故発生

単位(件)

事業所名	事故 (車輛)	事故 (怪我)	事故 (物損)	事故 (その他)
事務局	0	0	0	0
事務センター	0	0	1	0
わになろう	0	0	0	0
ひまわり生活の家	0	0	0	0
といろ	0	6	0	0
虹	0	0	0	0
コンパス	0	0	0	0
ハーモニー	1	2	2	0
アイリス	2	3	1	0
大地	0	3	1	0
あんです	0	0	0	0
だんだん	1	6	8	0
マーブル	0	0	0	0
ホップ	0	0	0	0
計	4	20	13	0

※レベル説明

レベル1(インシデントレベル)

レベル2 怪我 念のため通院、物損・車両・生産活動等 何らかの不具合を生じた

レベル3 怪我 通院が必要(縫合・固定処置無し)、物損・車両 修理必要・保険処理

レベル4 怪我 全治14日以内(見込み)の縫合や固定等の処置や入院の必要

車両・物損 相応の修理等必要、事務 苦情処理扱い

レベル5 怪我 全治14日以上(見込み)の治療や固定等の処置や入院の必要

車両 車両全損レベル、運転手・搭乗者の治療14日以上、物損 故障・廃棄等

事故 レベル分類

単位:(件)

	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	レベル6
事務局	0	0	0	0	0	0
事務センター	0	1	0	0	0	0
わになろう	0	0	0	0	0	0
ひまわり生活の家	0	0	0	0	0	0
といろ	0	3	2	0	1	0
虹	0	0	0	0	0	0
コンパス	0	0	0	0	0	0
ハーモニー	0	3	2	0	0	0
アイリス	0	2	2	1	1	0
大地	0	0	2	2	0	0
あんです	0	0	0	0	0	0
だんだん	0	1	13	1	0	0
マーブル	0	0	0	0	0	0
ホップ	0	0	0	0	0	0
合 計	0	10	21	4	2	0

事故レベル5以上の内容

事故レベル	事業所名	内容
5	アイリス	利用者が送迎車を降車後、徒歩で自宅へ帰宅。自宅の玄関先でてんかん発作から転倒。右足大腿骨骨折により、手術および3週間の入院加療が必要となりました。
5	といろ	2名の夜勤者がそれぞれ異なる利用者を支援中、食堂で白湯を飲んでいた利用者に対して、他の利用者が暴言。気分を悪くした利用者が右腕から首あたりに白湯を掛け、2週間程度の火傷治療が必要となりました。

◎令和4年事故レベル5以上 2件

◆苦情の内容と対応

事業所	内容	対応・解決策
という	短期入所の緊急時の受入体制を整えて欲しい。 誰もが平等に利用できるよう短期入所の予約方法を検討して欲しい。	緊急時の受入については、という単独で調整が困難な場合には、圏域内で調整を行うこととなっている事を説明し、まずは計画相談へ連絡を入れてもらうようにしました。 予約方法については先着順の受付から予約調整を行う方法に変更。希望者には必ず1回は利用できるようにしました。
あんです	・みそ汁の具(麩)が少し硬い。 ・薬味(山椒)の中身が入っていない。 ・レジ担当と意思疎通が難しかったので、サポートが必要ではないか。	・麩が水分を吸っているかの確認後、提供することとしました。 ・毎日開店前に、各薬味の中身を確認することとしました。 ・レジ担当者がお客様対応をしている時は注意深く見守り、戸惑った様子があればすぐに職員が対応に行くこととしました。
あんです	シフォンケーキの表ラベルと裏ラベルにそれぞれ日付が違う消費期限の記載があり、どちらが正しいのかわからない。	裏ラベルの消費期限の表記が2重になっていないかの確認を徹底しました。
だんだん	部品の管理体制が不十分、信用問題であると指摘を受ける。	お預かりした部品の管理場所の統一および報告・連絡を徹底することとしました。
わになろう	提供実績記録の記入方法について、実際の提供時間とズレているように思われる。考え方について説明を受けたが理解できなかった。	再度、説明の機会を持ちました。 事業所が採用している記載方法に間違いがないか、所轄庁にも確認を行いました。
マーブル	利用者が作業の就業前に早くから事業所に到着している場合がある。休憩室やトイレなど使えるように開放して欲しい。	職員の就業開始時間に合わせて、事業所の休憩室やトイレを開放するようにしました。
コンパス	会議の場において、中立公平な立場で、利用者や関係機関それぞれの意見を聞き、調整を行ってもらいたいが、発言内容からそのようには受け取れなかった。	コンパスの役割をミーティングにおいて再確認しました。また、会議等必要に応じて事前に打合せをすることとしました。

◎令和4年度苦情発生件数 7件

【第三者委員全体会】

苦情解決に社会性や客観性を確保し、利用者の立場や特性に配慮した適切な対応を推進するため第三者委員を3名の方に委嘱しています。

令和4年度取り組みとして、3名の委員それぞれ2か所事業所訪問（10月3日：といろ、10月5日：ドリーム・あんです ドリーム・だんだん、10月5日：大地、3月9日：太陽、3月8日：ハーモニー、3月8日：ドリーム）を依頼、利用者が日ごろの悩みや事業所に対する意見等を伝える機会、半期の苦情受付について報告する機会を持ちました。

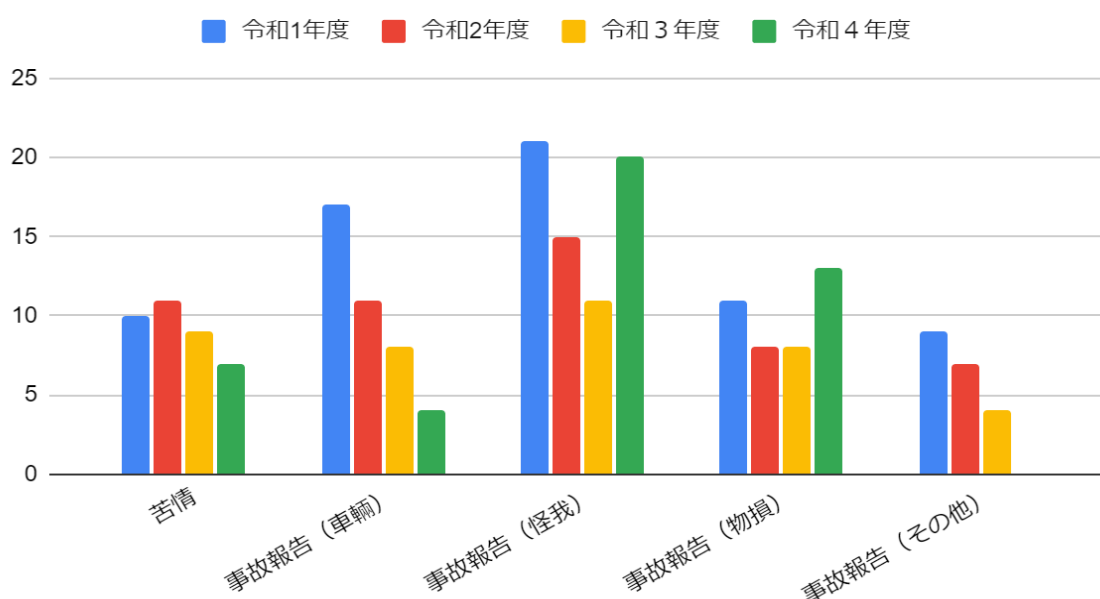
また、第三者委員会を年2回開催し、虹の会が提供する福祉サービスおよび苦情の対応等が適切であったか等の検証および助言を受け、意見交換等を行いました。

第1回目の委員会では、苦情の処理等については適切であったと評価を受けつつも、利用者に対する必要な支援を継続するように助言を受けました。また、職員が障がい者支援の仕事をしていることに誇りを持つことは大切なことであり、障がい者支援の魅力を地域に発信するなど、コロナ禍であるが積極的に地域に出向き利用者と住民が交流する機会等を持つよう助言を受けました。

第2回目の委員会では、生産活動の取引先との連携強化および相互理解、利用者・保護者の声に対する積極的な対応の必要性、同様の苦情を発生させない取り組みの強化や再検討の必要性について助言を受けました。

回	開催日	内容
1回	5月27日	・助言に対する令和3年度下半期の取り組み状況報告 ・各事業所訪問の報告 ・令和3年度下半期における苦情受付の検証および意見交換
2回	10月25日	・助言に対する令和4年度上半期の取り組み状況報告 ・各事業所訪問の報告 ・令和4年度上半期における苦情受付の検証および意見交換

苦情・事故の推移



◆職員の状況(令和5年3月31日現在)

(1)人員表

	正職	嘱託	臨時	短時	アル	再雇用	合計	男性	女性
本部事務局	2				1		3	1	2
事務センター	3		1	2			6	2	4
わになろう	1	1	1	5			8	2	6
ひまわり生活の家	2			11		1	14	3	11
といろ	4	1	2	8			15	4	11
虹	1		2	1			4	1	3
コンパス(ホップ)	6	4		3		1	14	8	6
ハーモニー	10	2		8		1	21	6	15
アイリス	6		1	3			10	6	4
大地	5	1	1	4	1		12	7	5
あんです	2	1	1	6	2		12	2	10
だんだん	5	3		4			12	6	6
マーブル	1			1	1		3	1	2
計	48	13	9	56	5	3	134	49	85

◎職員数

	正職	嘱託	臨時	短時	アル	再雇用	合計	男性	女性
令和3年度	45	12	11	57	3	2	130	39	91
令和4年度	48	13	9	56	5	3	134	49	85

◎障害者雇用率

- * 令和3年度 3.24 % 3名
- * 令和4年度 3.08 % 3名

(2) 職員の状況

	正職員	非正職員
職員比率	37.5% (48/128人)	62.5% (80/128人)
平均勤続年数	10年4ヶ月	6年6ヶ月
平均年齢	41.93歳	56.1歳

※アルバイト5名、宿直職員(短時間)1名除く

(3) 時間外勤務の状況

	正職員	非正職員
令和2年度月平均時間外勤務	6.2時間	1.2時間
令和3年度月平均時間外勤務	6.2時間	0.7時間
令和4年度月平均時間外勤務	4.9時間	1時間

(4) 有休取得の状況

	正職員	非正職員
令和2年度平均取得率	76.2%	86.1%
令和3年度平均取得率	75.4%	90.8%
令和4年度平均取得率	83.5%	80.6%

※年度付与数に対する取得率(最大20日付与)

(5) 新卒採用活動の状況

	採用者数
令和元年度卒	3名
令和2年度卒	1名
令和3年度卒	3名
令和4年度卒	3名

※新規採用者の定着率71.4%(令和元年度～令和3年度卒)

◆事業所の状況(令和5年3月31日現在)

事業所名	年度	定員 (名)	契約者数 (名)	平均年齢 (歳)	平均区分	平均稼働率 (%)
ひまわり生活 の家	令和2年	38	30	50.0	3.4	75.8
	令和3年	32	24	46.7	3.1	69.8
	令和4年	30	24	47.7	3.1	72
といろ	令和3年	10	10	57.5	4.7	98.4
	令和4年	10	10	58.7	5	98.2
短期入所といろ	令和3年	2	25	32.8	5	56.5
	令和4年	2	35	31.7	4.9	56.1
ハーモニー	令和2年	20	26	41.4	5.3	98.5
	令和3年	20	25	42.9	5.4	98.5
	令和4年	20	24	44.4	5.3	96.3
アイリス	令和2年	34	33	40.8	—	90.3
	令和3年	34	33	41.57	—	86.1
	令和4年	34	32	43	—	84.3
大地	令和2年	20	25	40.10	3.8	120.5
	令和3年	20	26	40.73	3.8	117.4
	令和4年	20	26	42.25	4.1	116.1
ドリーム あんです	令和2年	20	20	40.5	—	81.5
	令和3年	20	19	42.4	—	79
	令和4年	20	19	43.4	—	74.1
ドリーム だんだん	令和2年	28	37	44.11	4.2	100.7
	令和3年	28	37	45.7	4.2	102.9
	令和4年	28	36	45.5	4.3	101.9
マーブル	令和2年	20	16	44.1	—	64.0
	令和3年	20	16	45.0	—	65.4
	令和4年	20	16	45.11	—	64.2

◆就労支援事業等の状況(令和5年3月31日現在)

事業所名	年度	契約者数 (名)	就労支援事業収入 (円)	平均工賃 (円)
アイリス (就労継続支援B型)	令和2年	33	10,222,133	15,690
	令和3年	33	10,040,139	15,980
	令和4年	32	9,739,965	16,105
ドリーム あんです (就労継続支援B型)	令和2年	20	26,591,920	22,940
	令和3年	19	31,646,797	23,093
	令和4年	19	34,624,987	25,017
マーブル (就労継続支援B型)	令和2年	16	3,549,670	18,669
	令和3年	16	5,483,682	27,634
	令和4年	16	9,427,278	45,371
ドリーム だんだん (生活介護)	令和2年	37	2,443,999	5,302
	令和3年	37	2,316,458	3,757
	令和4年	36	2,211,297	3,773
大地 (生活介護)	令和2年	25	4,144,317	8,658
	令和3年	26	4,451,866	8,366
	令和4年	26	4,384,590	8,095

◆地域における公益的な取組の状況

地域における公益的な取組事業	実施内容
はたらく体験	生きづらさを抱える人やひきこもりの人等の社会参加のきっかけづくりとして、さまざまな仕事(法人内や地域の団体等から切り出された)の体験を実施しました。実人数は10名、延べ体験回数は119回でした。
虹カフェ	平日の9:00～17:00、通年で運営しました。実人数は50名、年間延べ利用者数は503名(テーマ別の居場所「〇〇カフェ」参加者含む)でした。「自分の得意なこと、好きなことなら話せる」という当事者の声から始まったテーマ型の居場所は好評で、参加者数は増加傾向にあります。

◎話題提供および視察研修の受け入れ状況

●令和4年度社会福祉法人経営者研修会～経営管理コース～

地域とともに歩む～公益的取り組みと持続可能な経営の実現～

令和4年12月21日(水)

講演:理事長 井上 四郎太夫

●新旭民生委員児童委員協議会 事業所訪問見学

市内の障がい福祉サービス事業所を訪問し、障がい福祉の実情を知ること、民生委員 児童委員活動に役立てることを目的とする

令和4年11月15日(火)

見学施設:ハーモニー、アイリス、という

◆各事業部からの報告

○本部事務局

○事務センター

○第1事業部

(アイリス、マーブル、大地)

○第2事業部

(ドリーム・あんです、ドリーム・だんだん)

○第3事業部

(ハーモニー、わになろう)

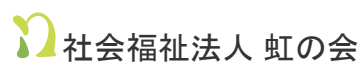
○第4事業部

(ひまわり生活の家、といろ、計画相談支援センター虹)

○第5事業部

(高島市障がい者相談支援センターコンパス、就労準備支援ホップ)

令和4年度事業報告書(案)



〒520-1521 滋賀県高島市新旭町北畑45番地

電話 0740(25)8220 FAX 0740(25)8221

ホームページ <http://www.shiganijinokai.net>

メールアドレス info@shiganijinokai.net

